



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年2月10日
東

上場会社名 株式会社大気社 上場取引所
 コード番号 1979 URL <https://www.taikisha.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 加藤 考二
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 中川 正徳 (TEL) 03-5338-5052
 管理本部長
 四半期報告書提出予定日 2020年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	158,696	2.6	10,852	34.1	11,249	28.7	7,761	91.2
2019年3月期第3四半期	154,603	△4.7	8,091	28.0	8,744	26.6	4,058	△0.9

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 8,599百万円(440.8%) 2019年3月期第3四半期 1,590百万円(△85.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	227.81	—
2019年3月期第3四半期	119.13	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	218,936	116,126	50.9
2019年3月期	223,080	113,649	48.8

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 111,510百万円 2019年3月期 108,787百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	25.00	—	66.00	91.00
2020年3月期	—	30.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	70.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	239,000	6.0	14,600	4.0	15,300	1.4	9,700	9.7	284.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 一 、除外 一社(社名) 一
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	35,082,009株	2019年3月期	35,082,009株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	1,013,516株	2019年3月期	1,013,293株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	34,068,661株	2019年3月期3Q	34,068,939株

(注) 当社は、2020年3月期第2四半期より「株式給付信託(BBT)」を導入しております。本信託に係る信託財産として資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)が保有する当社株式(期末自己株式数136,400株、期中平均株式数68,200株)を期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式に含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9
3. 補足情報	10
(1) 四半期受注工事高、完成工事高及び繰越工事高の状況(連結)	10
(2) 四半期受注工事高、完成工事高及び繰越工事高の状況(個別)	11
(3) 地域に関する情報	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、全体として景気の回復力が鈍化しました。米国では雇用情勢の改善などを背景に個人消費は堅調に推移したものの、外需の低迷などにより減速傾向となりました。また、欧州でも外需の落ち込みや英国のEU離脱をめぐる混乱などにより減速傾向となりました。アジアでは中国において、米中貿易摩擦の影響による企業の設備投資や個人消費の減少により景気の減速が続きました。日本経済は、雇用・所得環境の改善などにより個人消費は緩やかに回復しましたが、世界景気の減速を背景に輸出が弱含み、全体としては横ばいで推移しました。

当社グループにおける市場環境につきましては、国内市場は米中貿易摩擦などの影響により、電子部品メーカーなどで調整局面が見られましたが、首都圏におけるオフィスビルの建設投資や製薬メーカーによる設備投資などもあり、需要は堅調に推移しました。一方、海外市場は、景気の減速感が強まっているものの、北米においては自動車メーカーによる需要が好調に推移しました。

このような状況のもと、当第3四半期連結累計期間における受注工事高は、国内、海外ともに減少し、1,667億60百万円(前年同期比10.6%減少)となり、うち海外の受注工事高は、689億66百万円(前年同期比10.3%減少)となりました。

完成工事高は、海外は減少したものの国内で増加し、1,586億96百万円(前年同期比2.6%増加)となり、うち海外の完成工事高は、614億90百万円(前年同期比13.5%減少)となりました。

利益面につきましては、完成工事総利益は270億32百万円(前年同期比32億4百万円増加)、営業利益は108億52百万円(前年同期比27億61百万円増加)、経常利益は112億49百万円(前年同期比25億5百万円増加)、親会社株主に帰属する四半期純利益は77億61百万円(前年同期比37億2百万円増加)となりました。

セグメントごとの業績(セグメント間の内部取引高を含む)は次のとおりであります。

環境システム事業

受注工事高は、国内においてビル空調分野、産業空調分野ともに前年同期に大型案件の受注があったことによる反動減となり、前年同期を下回りました。完成工事高は、海外ではタイなどで減少したものの、国内においてはビル空調分野が大きく増加したことに加え、産業空調分野も増加したことから、環境システム事業全体としては前年同期を上回りました。

この結果、受注工事高は、1,145億15百万円(前年同期比10.2%減少)となりました。このうちビル空調分野は、322億30百万円(前年同期比18.9%減少)、産業空調分野は、822億85百万円(前年同期比6.3%減少)となりました。完成工事高は、1,137億47百万円(前年同期比8.2%増加)となりました。このうちビル空調分野は、389億89百万円(前年同期比29.1%増加)、産業空調分野は747億58百万円(前年同期比0.3%減少)となりました。セグメント利益(経常利益)につきましては101億65百万円(前年同期比7億92百万円増加)となりました。

塗装システム事業

受注工事高は、北米などで増加したものの、前年同期に欧州で大型案件の受注があったことによる反動減などにより、前年同期を下回りました。完成工事高は、国内、欧州などで増加したものの、北米、ロシアなどで減少し、前年同期を下回りました。

この結果、受注工事高は、522億45百万円(前年同期比11.5%減少)となりました。完成工事高は、449億52百万円(前年同期比9.1%減少)となりました。セグメント利益(経常利益)につきましては、前年同期は前年第2四半期会計期間に北米のプロジェクトにおいて採算が悪化した影響がありましたが、その影響が解消したため、13億91百万円(前年同期は7億42百万円のセグメント損失(経常損失))となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の流動資産は前連結会計年度末に比べ2.7%減少し、1,643億82百万円となりました。これはその他のうち仮払消費税等が80億83百万円増加し、現金預金が103億69百万円、受取手形・完成工事未収入金等が36億67百万円それぞれ減少したことなどによります。

当第3四半期連結会計期間末の固定資産は前連結会計年度末に比べ0.8%増加し、545億54百万円となりました。これは投資有価証券が7億53百万円、退職給付に係る資産が5億22百万円それぞれ増加し、有形固定資産が2億13百万円、のれんが1億25百万円それぞれ減少したことなどによります。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の資産合計は前連結会計年度末に比べ1.9%減少し、2,189億36百万円となりました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の流動負債は前連結会計年度末に比べ6.9%減少し、919億78百万円となりました。これは賞与引当金が43億6百万円増加し、支払手形・工事未払金等が50億39百万円、短期借入金が49億38百万円それぞれ減少したことなどによります。

当第3四半期連結会計期間末の固定負債は前連結会計年度末に比べ1.8%増加し、108億31百万円となりました。これはその他のうち繰延税金負債が12億70百万円、退職給付に係る負債が2億54百万円それぞれ増加し、長期借入金が13億83百万円減少したことなどによります。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の負債合計は前連結会計年度末に比べ6.0%減少し、1,028億9百万円となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は前連結会計年度末に比べ2.2%増加し、1,161億26百万円となりました。これは利益剰余金が44億86百万円増加し、資本剰余金が21億86百万円減少したことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年5月15日に発表した通期の業績予想について変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	52,107	41,737
受取手形・完成工事未収入金等	104,705	101,038
有価証券	1,000	—
未成工事支出金	2,807	3,895
材料貯蔵品	396	477
その他	8,379	17,472
貸倒引当金	△428	△238
流動資産合計	168,968	164,382
固定資産		
有形固定資産	10,333	10,119
無形固定資産		
のれん	1,332	1,206
その他	3,318	2,976
無形固定資産合計	4,650	4,183
投資その他の資産		
投資有価証券	29,378	30,132
退職給付に係る資産	5,912	6,434
その他	3,891	3,692
貸倒引当金	△53	△7
投資その他の資産合計	39,128	40,251
固定資産合計	54,111	54,554
資産合計	223,080	218,936
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	55,835	50,795
短期借入金	10,892	5,953
未払法人税等	2,711	226
未成工事受入金	14,778	16,093
賞与引当金	—	4,306
完成工事補償引当金	787	638
工事損失引当金	407	466
役員賞与引当金	154	42
その他	13,225	13,453
流動負債合計	98,791	91,978
固定負債		
長期借入金	3,076	1,693
役員退職慰労引当金	62	47
役員株式給付引当金	—	42
退職給付に係る負債	1,370	1,625
その他	6,127	7,423
固定負債合計	10,638	10,831
負債合計	109,430	102,809

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,455	6,455
資本剰余金	7,244	5,058
利益剰余金	84,984	89,471
自己株式	△2,476	△2,593
株主資本合計	96,208	98,390
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,842	12,549
繰延ヘッジ損益	△0	△0
為替換算調整勘定	164	△101
退職給付に係る調整累計額	572	672
その他の包括利益累計額合計	12,578	13,119
非支配株主持分	4,862	4,616
純資産合計	113,649	116,126
負債純資産合計	223,080	218,936

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
完成工事高	154,603	158,696
完成工事原価	130,774	131,663
完成工事総利益	23,828	27,032
販売費及び一般管理費	15,737	16,180
営業利益	8,091	10,852
営業外収益		
受取利息	235	250
受取配当金	509	525
保険配当金	189	123
不動産賃貸料	78	84
貸倒引当金戻入額	0	—
その他	280	151
営業外収益合計	1,292	1,135
営業外費用		
支払利息	197	134
不動産賃貸費用	19	18
為替差損	172	286
貸倒引当金繰入額	—	0
持分法による投資損失	170	181
その他	79	116
営業外費用合計	639	737
経常利益	8,744	11,249
特別利益		
固定資産処分益	11	26
投資有価証券売却益	51	447
特別利益合計	63	474
特別損失		
固定資産処分損	191	53
減損損失	116	0
投資有価証券売却損	—	0
投資有価証券評価損	—	0
のれん償却額	1,819	—
特別損失合計	2,128	53
税金等調整前四半期純利益	6,679	11,669
法人税、住民税及び事業税	2,829	2,554
法人税等調整額	△398	907
法人税等合計	2,430	3,461
四半期純利益	4,248	8,208
非支配株主に帰属する四半期純利益	190	447
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,058	7,761

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	4,248	8,208
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,159	707
繰延ヘッジ損益	10	0
為替換算調整勘定	△461	△382
退職給付に係る調整額	△20	94
持分法適用会社に対する持分相当額	△28	△28
その他の包括利益合計	△2,658	390
四半期包括利益	1,590	8,599
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,524	8,301
非支配株主に係る四半期包括利益	65	297

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

該当事項はありません。

(追加情報)

(業務執行取締役に対する株式給付信託(BBT)の導入)

当社は、2019年6月27日開催の第74回定時株主総会決議に基づき、第2四半期連結会計期間より、業務執行取締役に対する業績連動型株式報酬制度「株式給付信託(BBT (=Board Benefit Trust))」(以下、「本制度」といいます。)を導入しております。

本制度は、業務執行取締役の報酬と当社の業績及び株式価値との連動性をより明確にし、業務執行取締役が株価上昇によるメリットのみならず、株価下落リスクまでも株主の皆様と共有することで、中長期的な業績の向上と企業価値の増大に貢献する意識を高めることを目的としております。

本制度に係る会計処理については、「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第30号 2015年3月26日)に準じて、総額法を適用しております。

(1) 取引の概要

本制度は、当社が拠出する金銭を原資として当社株式が信託(以下、本制度に基づき設定される信託を「本信託」といいます。)を通じて取得され、業務執行取締役に対して当社が定める取締役株式給付規程に従って、当社株式及び当社株式を時価で換算した金額相当の金銭が本信託を通じて給付される業績連動型株式報酬制度であります。

なお、業務執行取締役が当社株式等の給付を受ける時期は、原則として業務執行取締役の退任時となります。

(2) 信託に残存する自社の株式

当社は、本信託に残存する当社株式を、本信託における帳簿価額(付随費用の金額を除く。)により純資産の部に自己株式として計上しております。当第3四半期連結会計期間末における当該自己株式の帳簿価額は449百万円、株式数は136,400株であります。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額 (百万円) (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円) (注2)
	環境システム 事業 (百万円)	塗装システム 事業 (百万円)	合計 (百万円)		
売上高					
外部顧客への売上高	105,170	49,432	154,603	—	154,603
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	0	0	△0	—
計	105,170	49,433	154,603	△0	154,603
セグメント利益又は損失(△)	9,372	△742	8,629	114	8,744

(注) 1 調整額は、以下のとおりであります。

セグメント利益又は損失(△)の調整額114百万円は、各報告セグメントに配分していない全社損益(全社収益と全社費用の純額)112百万円及びその他の調整額1百万円が含まれております。全社損益は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費、受取配当金等であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

塗装システム事業において、Geico S.p.A.に係るのれんの一時償却を行い、特別損失に計上しております。当第3四半期連結累計期間における当該一時償却によるのれんの減少額は1,819百万円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額 (百万円) (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円) (注2)
	環境システム 事業 (百万円)	塗装システム 事業 (百万円)	合計 (百万円)		
売上高					
外部顧客への売上高	113,744	44,952	158,696	—	158,696
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3	—	3	△3	—
計	113,747	44,952	158,699	△3	158,696
セグメント利益	10,165	1,391	11,557	△307	11,249

(注) 1 調整額は、以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△307百万円は、各報告セグメントに配分していない全社損益(全社収益と全社費用の純額)△310百万円及びその他の調整額3百万円が含まれております。全社損益は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費、受取配当金等であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 補足情報

(1) 四半期受注工事高、完成工事高及び繰越工事高の状況 (連結)

区分	前第3四半期 連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)		当第3四半期 連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)		増減	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	率 (%)
受注工事高						
環境システム事業						
ビル空調	39,717	21.3	32,230	19.3	△7,487	△18.9
産業空調	87,783	47.1	82,285	49.3	△5,498	△6.3
小計	127,501	68.4	114,515	68.6	△12,985	△10.2
(うち海外)	(28,331)	(15.2)	(28,108)	(16.9)	(△222)	(△0.8)
塗装システム事業	59,027	31.6	52,245	31.4	△6,782	△11.5
(うち海外)	(48,521)	(26.0)	(40,858)	(24.5)	(△7,662)	(△15.8)
合計	186,529	100.0	166,760	100.0	△19,768	△10.6
(うち海外)	(76,852)	(41.2)	(68,966)	(41.4)	(△7,885)	(△10.3)
完成工事高						
環境システム事業						
ビル空調	30,192	19.5	38,989	24.6	8,796	29.1
産業空調	74,977	48.5	74,754	47.1	△222	△0.3
小計	105,170	68.0	113,744	71.7	8,573	8.2
(注) 2, 3 (うち海外)	(29,297)	(19.0)	(26,609)	(16.8)	(△2,687)	(△9.2)
塗装システム事業	49,432	32.0	44,952	28.3	△4,480	△9.1
(うち海外)	(41,775)	(27.0)	(34,880)	(22.0)	(△6,895)	(△16.5)
合計	154,603	100.0	158,696	100.0	4,093	2.6
(うち海外)	(71,072)	(46.0)	(61,490)	(38.8)	(△9,582)	(△13.5)
繰越工事高						
環境システム事業						
ビル空調	61,764	32.3	46,054	25.4	△15,710	△25.4
産業空調	63,736	33.3	67,131	37.1	3,395	5.3
小計	125,501	65.6	113,186	62.5	△12,315	△9.8
(うち海外)	(22,297)	(11.7)	(25,354)	(14.0)	(3,056)	(13.7)
塗装システム事業	65,778	34.4	68,004	37.5	2,225	3.4
(うち海外)	(57,998)	(30.3)	(59,801)	(33.0)	(1,803)	(3.1)
合計	191,280	100.0	181,190	100.0	△10,089	△5.3
(うち海外)	(80,295)	(42.0)	(85,155)	(47.0)	(4,859)	(6.1)

(注) 1 受注工事高、完成工事高及び繰越工事高は、外部顧客に対する取引金額となっております。

2 前第3四半期連結累計期間の環境システム事業の完成工事高とセグメント情報における環境システム事業の売上高との差異はありません。また、塗装システム事業の完成工事高49,432百万円とセグメント情報における塗装システム事業の売上高49,433百万円との差異0百万円は、セグメント間の内部売上高であります。

3 当第3四半期連結累計期間の環境システム事業の完成工事高113,744百万円とセグメント情報における環境システム事業の売上高113,747百万円との差異3百万円は、セグメント間の内部売上高であります。また、塗装システム事業の完成工事高とセグメント情報における塗装システム事業の売上高との差異はありません。

(2) 四半期受注工事高、完成工事高及び繰越工事高の状況 (個別)

区分	前第3四半期 累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)		当第3四半期 累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)		増減	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	率 (%)
受注工事高						
環境システム事業						
ビル空調	37,380	32.5	29,397	30.5	△7,983	△21.4
産業空調	59,042	51.3	54,495	56.6	△4,546	△7.7
小計	96,422	83.8	83,892	87.1	△12,530	△13.0
(うち海外)	(95)	(0.1)	(396)	(0.4)	(300)	(316.4)
塗装システム事業	18,684	16.2	12,453	12.9	△6,231	△33.3
(うち海外)	(9,798)	(8.5)	(4,030)	(4.2)	(△5,768)	(△58.9)
合計	115,107	100.0	96,346	100.0	△18,761	△16.3
(うち海外)	(9,894)	(8.6)	(4,426)	(4.6)	(△5,467)	(△55.3)
完成工事高						
環境システム事業						
ビル空調	28,548	32.7	37,120	38.1	8,572	30.0
産業空調	45,236	51.7	48,177	49.4	2,941	6.5
小計	73,784	84.4	85,297	87.5	11,513	15.6
(うち海外)	(84)	(0.1)	(107)	(0.1)	(22)	(26.9)
塗装システム事業	13,626	15.6	12,251	12.5	△1,374	△10.1
(うち海外)	(7,390)	(8.5)	(4,757)	(4.9)	(△2,632)	(△35.6)
合計	87,410	100.0	97,549	100.0	10,138	11.6
(うち海外)	(7,474)	(8.6)	(4,864)	(5.0)	(△2,609)	(△34.9)
繰越工事高						
環境システム事業						
ビル空調	60,569	52.1	44,415	45.8	△16,154	△26.7
産業空調	41,460	35.7	42,064	43.4	603	1.5
小計	102,030	87.8	86,479	89.2	△15,551	△15.2
(うち海外)	(31)	(0.0)	(295)	(0.3)	(264)	(853.7)
塗装システム事業	14,131	12.2	10,399	10.8	△3,731	△26.4
(うち海外)	(7,194)	(6.2)	(3,770)	(3.9)	(△3,424)	(△47.6)
合計	116,161	100.0	96,879	100.0	△19,282	△16.6
(うち海外)	(7,225)	(6.2)	(4,065)	(4.2)	(△3,159)	(△43.7)

(3) 地域に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

売上高

日本 (百万円)	北米 (百万円)	東南アジア		東アジア		インド (百万円)
		タイ (百万円)	その他の 東南アジア (百万円)	中国 (百万円)	その他の 東アジア (百万円)	
83,530	13,849	18,653	13,014	9,272	1,246	6,388

その他 (百万円)	合計 (百万円)
8,647	154,603

当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

売上高

日本 (百万円)	北米 (百万円)	東南アジア		東アジア		インド (百万円)
		タイ (百万円)	その他の 東南アジア (百万円)	中国 (百万円)	その他の 東アジア (百万円)	
97,206	9,115	13,861	15,097	8,352	936	7,300

その他 (百万円)	合計 (百万円)
6,827	158,696